



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

東

上場会社名 アートスパークホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川上 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,131	33.7	△0	—	△23	—	△40	—
26年12月期第3四半期	2,341	△15.3	△313	—	△337	—	△341	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △38百万円(—%) 26年12月期第3四半期 △341百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△6.04	—
26年12月期第3四半期	△51.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,699	2,347	62.2
26年12月期	3,969	2,362	58.4

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 2,299百万円 26年12月期 2,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,349	13.7	181	81.5	148	58.1	125	108.5	18.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	6,683,740株	26年12月期	6,647,375株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	2,370株	26年12月期	1,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	6,658,032株	26年12月期3Q	6,645,154株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年9月30日)における我が国経済は、政府や日銀による財政、金融政策を背景に、企業収益に改善傾向がみられるものの、個人消費の回復遅れの影響から、直近のGDP統計では3四半期ぶりにマイナス成長になる等、国内景気は一時的な踊り場状態で推移いたしました。また、欧米諸国の財政問題や新興国経済、中国経済の減速傾向が鮮明となる等、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作からの利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当第3四半期累計期間におきましては、機動的に開発プロジェクト推進を可能にするグループ各社をまたぐ開発マネージメントの運用を開始いたしました。また、当社子会社の株式会社エイチアイの事務所移転統合の実施や、株式会社U'eyes Designの株式の譲渡等により、財務等における経営資源の集中と配分を重視し、経営効率向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は3,131,059千円(前年同期比33.7%増)、営業損益は463千円の営業損失(前年同期は313,766千円の営業損失)となりました。

経常損益につきましては、支払利息9,523千円、持分法による投資損失7,195千円、為替差損3,100千円を計上したこと等により23,650千円の経常損失(前年同期は337,196千円の経常損失)となりました。純損益につきましては、子会社株式売却益36,109千円を計上しましたが、事務所移転費用18,695千円、投資有価証券売却損10,546千円等により40,239千円の四半期純損失(前年同期は341,705千円の四半期純損失)となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成27年6月末で国内携帯電話加入契約数が1億5,149万台(前年比7.4%増)となっております。(社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より)

このような経営環境の中、総合電子書籍ビューア「BS Reader」が、仮想移動体通信事業者(MVNO)から提供される新端末やSIMフリー端末に、また、9月にリリースされたiPhone/iPad向け最新OSのiOS9に対応する等、新たに登場するデバイス機器や新OS向けの開発に積極的に取り組んでおります。

なお、総合電子書籍ビューア「BS Reader」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成27年9月末では930サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は862,040千円(前年同期比0.4%増)、営業利益は12,327千円(前年同期比64.5%減)となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」が、全世界で発売されるワコム社製新製品タブレット「Intuos Comic」に採用されました。また、NHN Play Art株式会社(現NHN comico株式会社)が提供する、スマートコミック&ノベルサービス「comico」用機能を実装したコラボレーションパッケージ「CLIP STUDIO PAINT comico」の販売を開始しました。

この他、アニメ制作支援ソフトウェア「RETAS STUDIO」を開発、販売してきたノウハウを活かし、プロのアニメ制作現場からイラストやマンガ制作を行う個人のクリエイター等の幅広い層に活用して頂くため、「CLIP STUDIO PAINT EX」に、2Dアニメ制作が可能になる機能の追加を行っております。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成27年9月末時点の登録者数は55万人となっております。

以上の結果、売上高は723,645千円(前年同期比38.4%増)、営業利益は107,154千円(前年同期は5,796千円の営業利益)となりました。

<UI/UX事業>

当第3四半期連結累計期間では、自動車(四輪・二輪)関連分野を筆頭に、UIオーサリングツール「exbeans UI Conductor(エックスビーンズユーアイコンダクター)」を始めとする自社IP製品の開発と販売に注力してまいりました。9月には、「exbeans UI Conductor」とスケラブル描画エンジン「Higlyph」が搭載されたセイコーエプソン社製カラープリンター「PF-81」が発売開始されました。更に自動車メーカー向けには北米量産用搭載部品として当社新開発テレマティクスサービスソフトウェアの供給を開始いたしました。

また、韓国オビゴ社（Webブラウザ及びプラットフォームベンダー）と戦略的業務提携について覚書を締結しております。自動車業界向けソリューションの日本国内における業務展開を進め、自動車業界におけるソフトウェアTier1メーカーとして、自社IP製品との幅広い融合等の企画を検討・推進してまいります。

なお、事務所移転の実施等をおこなっており、構造改革による経営効率の向上につきましても引き続き推進してまいります。

以上の結果、売上高は1,540,044千円（前年同期比74.5%増）、営業損益は150,551千円の営業損失（前年同期は404,051千円の営業損失）となりました。

<アプリケーション事業>

アプリケーション事業につきましては、事業縮小を進めており、売上高は23,476千円（前年同期比79.3%減）、営業損益は2,121千円の営業損失（前年同期は40,308千円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて270,927千円減少し3,699,047千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が111,668千円、ソフトウェアが138,686千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が250,071千円、ソフトウェア仮勘定が109,327千円、のれんが118,444千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて256,014千円減少し1,351,158千円となりました。この主な要因は、短期借入金が13,791千円、賞与引当金が14,614千円増加した一方で1年内返済予定の長期借入金が16,512千円、長期借入金が161,652千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて14,913千円減少し2,347,889千円となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使により資本金が11,270千円、資本剰余金が11,270千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が40,239千円減少したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、62.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,086,746	1,198,414
受取手形及び売掛金	880,145	630,074
製品	13,135	5,196
仕掛品	63,502	109,323
原材料及び貯蔵品	60,899	24,221
その他	126,707	152,932
貸倒引当金	△16,381	△8,040
流動資産合計	2,214,755	2,112,122
固定資産		
有形固定資産		
建物	125,714	65,181
減価償却累計額	△85,389	△37,917
建物(純額)	40,325	27,263
工具、器具及び備品	241,945	202,840
減価償却累計額	△210,718	△180,368
工具、器具及び備品(純額)	31,227	22,472
有形固定資産合計	71,552	49,736
無形固定資産		
ソフトウェア	917,595	1,056,281
ソフトウェア仮勘定	241,832	132,505
のれん	134,174	15,729
その他	32,774	33,474
無形固定資産合計	1,326,376	1,237,991
投資その他の資産		
投資有価証券	111,991	93,492
敷金及び保証金	201,394	163,800
その他	38,424	38,251
投資その他の資産合計	351,810	295,544
固定資産合計	1,749,740	1,583,271
繰延資産	5,478	3,652
資産合計	3,969,974	3,699,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,822	217,971
短期借入金	406,214	420,005
1年内返済予定の長期借入金	151,798	135,286
未払法人税等	23,978	9,603
返品調整引当金	3,149	9,267
賞与引当金	83,656	98,270
その他	360,599	247,224
流動負債合計	1,241,218	1,137,627
固定負債		
長期借入金	276,203	114,551
退職給付に係る負債	80,443	90,028
繰延税金負債	1,275	918
その他	8,031	8,031
固定負債合計	365,953	213,530
負債合計	1,607,172	1,351,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,158	1,014,428
資本剰余金	482,285	493,555
利益剰余金	832,467	792,227
自己株式	△958	△1,429
株主資本合計	2,316,952	2,298,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	899
その他の包括利益累計額合計	1,296	899
新株予約権	34,142	36,054
少数株主持分	10,410	12,153
純資産合計	2,362,802	2,347,889
負債純資産合計	3,969,974	3,699,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,341,789	3,131,059
売上原価	1,771,991	2,180,398
売上総利益	569,798	950,661
返品調整引当金戻入額	8,292	3,149
返品調整引当金繰入額	3,834	9,267
差引売上総利益	574,256	944,543
販売費及び一般管理費	888,022	945,006
営業損失(△)	△313,766	△463
営業外収益		
受取利息	624	297
受取配当金	92	347
業務受託料	-	600
還付加算金	857	486
その他	1,347	332
営業外収益合計	2,922	2,064
営業外費用		
支払利息	7,883	9,523
為替差損	3,496	3,100
持分法による投資損失	9,535	7,195
その他	5,435	5,432
営業外費用合計	26,351	25,252
経常損失(△)	△337,196	△23,650
特別利益		
負ののれん発生益	13,849	-
新株予約権戻入益	595	1,165
子会社株式売却益	-	36,109
その他	1,352	-
特別利益合計	15,798	37,275
特別損失		
投資有価証券売却損	-	10,546
投資有価証券評価損	1,027	-
事務所移転費用	-	18,695
その他	-	1,364
特別損失合計	1,027	30,606
税金等調整前四半期純損失(△)	△322,426	△16,981
法人税等	18,043	21,374
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△340,469	△38,356
少数株主利益	1,236	1,883
四半期純損失(△)	△341,705	△40,239

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△340,469	△38,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,086	△397
その他の包括利益合計	△1,086	△397
四半期包括利益	△341,556	△38,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△342,792	△40,636
少数株主に係る四半期包括利益	1,236	1,883

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	823,380	522,686	882,418	113,303	2,341,789	—	2,341,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,000	290	—	—	35,290	△35,290	—
計	858,380	522,977	882,418	113,303	2,377,080	△35,290	2,341,789
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	34,678	5,796	△404,051	40,308	△323,268	9,501	△313,766

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	843,892	723,645	1,540,044	23,476	3,131,059	—	3,131,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,148	—	—	—	18,148	△18,148	—
計	862,040	723,645	1,540,044	23,476	3,149,207	△18,148	3,131,059
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	12,327	107,154	△150,551	△2,121	△33,191	32,728	△463

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。